

# 取扱説明書

型番:ACT-101S8

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。別冊「使用上のご注意・サポートガイド」と本書をよくお読みのうえご使用ください。また、保証書裏面の「保証規定」をよくお読みください。

## 重要保管

本書は必要なときすぐにご覧になれるようお手元に保管してください。

### 本書で使用しているマークについて

	死亡または重傷を負う可能性がある内容です。		軽傷を負うことや財産への損害が生じる可能性がある内容です。
	操作の際注意するポイントです。		補足説明や知っておくと便利なポイントです。

### ★本機はGoogle Play (Google Play ストア)に対応しておりません

- 本機は、Android OSの自動アップデートをおこなわず固定OSバージョンで運用いただけることを目的に、Google Playストアおよび一部のGoogleサービスに対応しておりません。したがって本機にGoogleアカウント/パスワードを設定していてもGoogle PlayストアのWebサイトにアクセスすることができないか、アクセスができてGoogle Playストアに「ダウンロード済み」「インストール済み」と結果表示された場合でも、実際は本機へのアプリのダウンロードはおこなわれません。あらかじめご了承ください。
- Google Playストア以外のAndroidアプリストアはご利用いただけます。

★本機は外部電源稼働専用タイプです。付属のACアダプターなど指定された外部電源から給電されている状態で使用してください。本機の内蔵バッテリーは、停電発生時などごく短時間の動作補助専用です。

本機が内蔵バッテリーで稼働できる時間は、停電やACアダプターの脱着などで、外部からの給電が絶たれている短時間に限られます。そのため通常時は、付属のACアダプターなどの外部電源から常に給電されている状態で使用してください。外部からの給電再開より前にバッテリー稼働時間が終了に近づいた場合、本機は自動的にシャットダウン(終了処理)動作を開始し、その後電源がOFFになります。なお、本機の内蔵バッテリー充電管理は、バッテリーへのストレス要因低減を目的とした、以下のアンチエイジング手法がおこなわれます。

①外部からの給電が断たれている間、内蔵バッテリーで継続稼働できる時間の目安	連続15分間	*1 *2
②満充電として補充電を完了する充電上限値(補充電量をより低ストレスな範囲内に制限)	バッテリー性能容量の 約75%	*3
③本機が補充電を開始する充電残量値(残量がこの値より多い場合は補充電を休止)	同 約60%(以下)	*3 *4
④自動的に安全な電源OFF動作をおこない、バッテリー稼働を終了する充電残量値	同 約30%	*4 *5
⑤本機が外部からの給電で稼働している間に内蔵バッテリーが消費する電力	稼働用電力には消費しない(標準ACアダプターを大型化)	*6

- \*1 内蔵バッテリーパックの交換時期(バッテリーの寿命時期)かつ充電残量値60%のときの目安です。ご購入時点の継続稼働時間は上記の2倍です。当社測定法による目安ですので、ご使用になる状況により実際のバッテリー稼働時間は異なります。
- \*2 この間は最大音量が制限されます。外部給電再開後音量は手動で最大に戻せます。
- \*3 内蔵バッテリーパックは消耗品です。バッテリーは、繰り返しの使用により性能容量が徐々に劣化していきます。稼働できる時間が初期性能のおよそ半分になったら交換時期(寿命)です。
- \*4 補充電中に本機の電源OFFまたは再起動、もしくはACアダプターの脱着など給電の中断がおこなわれた場合、実行中の補充電は一旦打ち切られます。充電残量が再び60%以下まで減少すると改めて開始されます。
- \*5 充電残量が30%以下のときは、外部からの給電が再開されるまでの間、電源スイッチを押しても本機の電源はONになりません。
- \*6 ただしバッテリーは、特性上いかなるときもごく微量の自然放電をしています。

リチウムイオンバッテリーの特性などについては、【[※](#) 別冊 使用上の注意・サポートガイド】をお読みください。

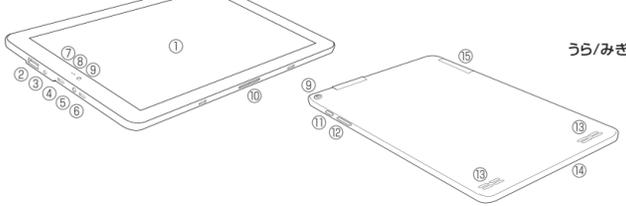
ブレーカーを落とすなどの方法でACアダプターへの電力供給を遮断するときは、あらかじめ本機の電源をOFFにしたうえでごこなしてください。電源をOFFにしておかなかった場合、本機は自動的に内蔵バッテリーによる継続稼働に移行しますので、次の給電(補充電)までの間、充電残量を消費します。

## 1.セット内容 — はじめにご確認下さい —

- 本体  ACアダプター (ACアダプター+ACプラグ)  
 使用上のご注意・サポートガイド  保証書  取扱説明書(本書)

## 2.各部の名称と機能

おもて/ひだり



うら/みぎ

名称	補足説明
①ディスプレイ(画面)	表面に10点マルチタッチパネルを装備しています
②USB2.0ポート(TypeA)	機能はホストモードです。USBメモリーなどUSB機器を接続します
③電源入力端子(DC-IN)	付属の専用ACアダプターを接続します
④microHDMI出力端子	ご利用の際は市販のmicroHDMIケーブルをご用意ください
⑤ヘッドホン兼ヘッドセット端子	ヘッドセットの規格は「CTIA」です(単体マイクは使用できません)

⑥USB2.0ポート(micro-B)	機能はOTGモードです。microUSB機器を接続します
⑦照度センサー	周囲の明るさを検知します
⑧充電ランプ	消灯/点灯/点滅によって以下の動作状態を表します 消灯: 補充電をおこなっていません 赤色点灯: 内蔵バッテリーを補充電中です 緑色点滅: 内蔵バッテリーの電力で動作中です
⑨Webカメラ(内側/外側)	静止画や動画が撮影できるカメラレンズです
⑩拡張ポート	(当社製の専用周辺機器(別売)に接続するための端子です)
⑪電源スイッチ	本機の電源をON/OFFにするスイッチです
⑫音量ボタン	+を押すと音量が上がります、-を押すと音量が下がります
⑬ステレオスピーカー	縦向き使用の際にスピーカーレイアウトが左/右配置となります
⑭内蔵モノラルマイク	小さな穴の内部にモノラルマイクを内蔵しています
⑮メモリーカードスロットカバー	カバーを開くと中にmicroSD/SDHCカードスロットがあります

## 3.はじめて電源をONにする前に

### 3-1. インターネット環境の準備

これからインターネットをはじめの方は、あらかじめインターネットプロバイダーと契約し、インターネット回線を開通させたうえで、無線LAN親機(無線LANルーターなどとも呼ばれます)など、本機との接続に必要な機器をご用意ください。

本機は無線LAN受信機(子機)を内蔵しており、お選びいただける規格は以下です。

2.4GHz帯 無線LAN	5GHz帯 無線LAN
IEEE802.11b/g/n	IEEE802.11a/n/ac

無線LAN親機を使用するときは、その取扱説明書等を参照して以下をメモしておきましょう。  
 ・ネットワーク名(SSID) 無線LAN親機などアクセスポイント固有の名前で  
 ・ネットワークセキュリティキー (セキュリティキー、暗号化キー、WPA2キー、WEPキーなど)

(無線LANの設定方法は【[※](#) 4-6-1. 無線LAN(Wi-Fi)の接続設定】で説明します。)

本機の時計機能は、無線LANに接続すればネットワークから提供される日時情報を利用して、自動的に日時合わせされるようになっています(出荷時設定)。手動で日時合わせすることも可能です。【[※](#) 5-2. 各種設定の変更方法】

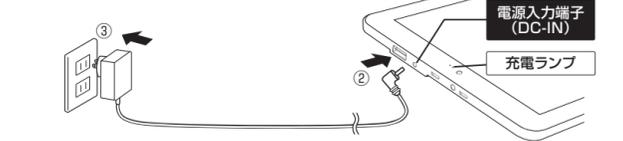
### 3-2. ACアダプターの接続方法 / 内蔵バッテリーの充電方法

① ACアダプターにACプラグを装着します。(以降ACプラグは装着したままにしておきます。)



② 本機の電源入力端子(DC-IN)に電源ケーブルを挿しこみます。

③ ACアダプターを電源コンセントに接続します。



④ 本機は充電を終えたあとでも引き続き給電されている状態で使用してください。

→電源OFFの状態では、ACアダプターからの給電を開始すると画面に「しばらくお待ちください」と表示され、続いて充電残量(%)が表示されたあと画面消灯します。電源スイッチの操作【[※](#) 4-1. 本機の電源をONにする】は、この後におこなってください。  
 →充電中は、本機の充電ランプが赤色に点灯し、満充電になると消灯します。

給電を開始したときの充電残量が、本機の補充電開始残量値(60%)よりも多い場合、補充電は休止中ですので、充電ランプは点灯しないか点灯してもすぐに消灯します。  
 補充電中に本機の電源OFFまたは再起動、もしくはACアダプターの脱着など給電の中断がおこなわれた場合、実行中の補充電は一旦打ち切られます。充電残量が再び60%以下まで減少すると改めて開始されます。

本機への給電は、必ず付属のACアダプターを使用して、電源入力端子(DC-IN)からおこなってください。(上の図で指定する以外の接続はしないでください。) また、故障の原因になりますので、TypeA USBポートやmicroUSBポートに、外部バッテリーやDC電源など本機へ給電する装置を接続しないでください。

### 3-3. タッチパネルの操作方法について

タッチ操作名	タッチ方法	おもな動作内容
タップ	画面の項目を軽く1回たたきます	選択や決定
ダブルタップ	画面の項目をすばやく2回連打します	拡大や縮小
長押し(ロングタップ)	画面の項目に、しばらく指を押しつけたままにします	オプションメニューの表示
フリック	画面に触れた指先をすばやくはらうように動かし離します	写真やページをめくる
スワイプ	画面に触れた指先で画面をゆっくりなぞります	画面表示の移動
ドラッグ	項目を指先で押さえたまま、目的の位置まで動かします	アイコンなどの移動
ピンチアウト	2本の指で画面に触れたまま、指と指を広げます	画面の拡大
ピンチイン	2本の指で画面に触れたまま、指と指を近づけます	画面の縮小

市販の一部タッチペンで本機の操作ができない場合がありますが、本機の故障ではありません。

## 4. 本機を使い始める

さあ、使い始めましょう。ここからは本機の基本的な操作方法を説明します。画面は横向きでも縦向きでもご利用いただけます。(スピーカーは縦向き配置です。)

### 4-1. 本機の電源をONにする

① 電源スイッチを押します。

初めて電源をONにするとき  
 前回電源をOFFにしたとき  
 【[※](#) 4-2. 本機の電源をOFFにする】

3秒以上長押しして指を離す



電源をOFFにしたあとに再度電源をONにするときは、画面が消灯していてもバックグラウンドの終了処理がまだ継続されている場合がありますので、画面消灯後30秒以上待ってから再操作してください。3秒以上長押しして(指を離しても電源が入らない場合などは、あらかじめ30秒以上待ってから電源ボタンを3秒以上長押しして(指を離して)ください。

10秒以上長押しを続けると自動的に「強制終了」しますので、電源をONにするときは、10秒以上長押しをしないで下さい。【[※](#) 4-2. 本機の電源をOFFにする】

②「システムを起動します」～androidロゴの順に画面表示されたあと、「ロック画面」が表示されます。(誤作動防止のため、ロック画面の状態では本機の操作をおこなうことはできません。③の手順で画面のロックを解除してください。)



③画面下部の任意の場所に触れ、画面の中央付近の高さまで、下から上にスワイプして画面のロックを解除します。



【ホーム画面: 本機の基本画面です。】



はじめて画面のロックを解除するときや初期化【[※](#) 5-2. 各種設定の変更方法】のあと、はじめて画面のロックを解除するときは画面に右の「ようこそ」コメントが表示されます。OKを押して進んでください。

### 4-2. 本機の電源をOFFにする

電源スイッチを押します。

本機の電源をOFFにする方法(電源のシャットダウン方法)

1秒間長押し

→画面に以下が表示されたら、電源スイッチから指を離します。

電源を切る  
再起動



続いて「電源を切る」をタップして電源をOFFにします。

(枠の外側をタップすると手順を中止できます。)

本機には「スリープ機能」はありません。一定時間操作がないとき、自動的にディスプレイ表示だけを消灯して消費電力を低減させることができる「LCDオフ機能」を設定することができます。LCDオフ機能については【[※](#) 4-6-3. LCDオフ機能の設定】をご覧ください。  
 「電源スイッチをカチッと短押し」することもディスプレイ表示だけを消灯することができます。このときの本機の状態はLCDオフ機能による画面消灯時と同じです。ただし、再生中の動画系ファイル(インターネットの動画系ファイルを含みます)は一時停止状態になります。LCDオフ状態から復帰させるときは、電源ボタンをもう一度短押しします。すぐに「ロック画面」が表示されますので画面のロックを解除してください。

【本機の強制終了方法】

本機を操作中に画面がフリーズする(固まる)などしたときに限り、以下の方法で本機を強制終了してください。  
 →「電源スイッチを10秒以上長押し」強制終了後、再び電源をONにするときは、画面消灯後30秒以上待ってからおこなってください。



本機をすぐに使用しないときは電源をOFFにしてください。1日一回など定期的に電源をOFFにするか再起動をおこなうことで、本機の記憶装置にキャッシュデータなどの不用品データ(garbage)が蓄積され続けることを防止することができます。不用品データの蓄積が長期間続いた場合、本機のパフォーマンス低下や突然の電源OFFなどの原因になる場合があります。

本機は24時間連続稼働を前提とした設計になっておりません。

### 4-3. 「ホーム画面」の基本操作方法



①ステータスバー  
 画面上部にあり、無線LANの接続状況、時刻、バッテリーの状態などを表示します。

②アプリドロワー  
 タップすると「アプリ画面」が表示されます。アプリアイコンをタップしてアプリを使用します。  
 【[※](#) 4-7. おもな内蔵アプリについて】

③バックボタン  
 現在表示中の画面の、ひとつ前の画面やページに戻ることができるボタンです。

④ホームボタン  
 どんな操作をしているときでも、このボタンをタップすると「ホーム画面」に戻ります。

⑤履歴ボタン  
 アプリや設定などの利用履歴を画面表示するボタンです。履歴画面に表示されたアプリ等をタップするとアプリの切り替えも直接おこなえます。



(③のバックボタンを押すとホーム画面に戻ります。)

### 利用を終えたアプリを終了する方法 / アプリの利用履歴を消去する方法

- ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。(アプリの終了)
- 履歴ボタンをタップします。履歴表示されたアプリに触れ、右または左にフリックすると利用履歴を消去できます。



アプリを右または左にフリックして消去

### 4-4. タッチキーボードの操作方法

インターネット検索やメールの作成、各種設定作業などで文字の入力が必要になると、画面にタッチでタイピング(文字入力)ができる、タッチキーボードが表示されます。

タッチキーボード(本書では、以降キーボードとします)



出荷時設定はQWERTYキーボード/ローマ字入力(ひらがな漢字変換)になっています。画面の文字をタッチタイピングすると表示される文字変換候補をタップすることで文字変換しながら文字入力します。

### 文字種別の切り替え

文字  
あA1



キーボード表示を終了したいときは

画面下部の、下向きのバックボタンをタップすると、キーボード表示が終了します。



キーボードが表示されているときは、バックボタンが下向きに変わります。

キーボードのサイズや表示位置を変更する

キーボード上部のバーに表示されている右隅部分に触れたままドラッグすることで、キーボードのサイズや表示位置を変更することができます。



キーボードのサイズや位置の変更は、キーボード上部のバーに表示されている右のマークのタップからでもおこなえます。

●キーボードの詳細設定例を説明します。

文字  
あA1

キーボード左下にある、「文字ボタン」をタップすると、キーボードの詳細設定をおこなうことができるメニュー画面が表示されます。

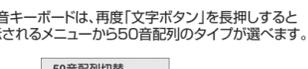
キーボードの詳細設定をおこなう場合は各項目にタップしておこなってください。ここでは一例として、キーボードタイプの切り替え方法を説明します。

①iWnn IME(本機の日本語入力ソフトウェアの名称です)メニューの「キーボードタイプ切替」をタップすると、選択可能なキーボードのタイプが表示されます。お好みのキーボードタイプをタップします。



②以下はキーボードタイプの中から「50音キーボード」を選択した例です。

50音キーボードは、再度「文字ボタン」を長押しすると表示されるメニューから50音配列のタイプが選べます。



文字  
あA1

「50音配列切替」をタップ

お好みの50音配列をタップします

(⇒裏面につづきます)

(⇒ 表面からのつづきです)

#### 4-5. 「通知バー」と「クイック設定画面」について

●本機からの通知を表示する「通知バー」は、以下の手順で表示できます。

①ホーム画面上部の画面の外枠に触れ、画面の内側へスワイプします。

②画面上部に通知バー(上部のボックス)と画面の内側へスワイプします。

通知バー(上部)  
通知内容(通知がある場合)

画面上部の外枠から、画面内側へスワイプ

通知内容をタップし、右または左にフリックすると通知内容が消去できます。  
通知バー、通知内容から離れた場所をタップすると両方の画面表示が消えます。

●使用頻度が高い設定項目は、「クイック設定画面」から設定できます。

①表示した通知バーをタップして、「クイック設定画面」を表示します。

②通知バーの下側にクイック設定画面が表示されました。

タップ

(通知バー部分にも「設定」アイコンが追加されます。)

クイック設定画面

●通知バー、クイック設定画面のアイコンのタップから以下の設定がおこなえます。

「設定」アイコン(詳細設定の入口)	画面の照度調整
無線LAN(Wi-Fi)の接続設定	Bluetoothの接続設定
機内モードのON/OFF	画面の自動回転 / 固定

「設定」アイコンは、アプリ画面内にある右の「設定」アイコンと同じ機能です。  
[※4-7. おもな内蔵アプリについて]  
[※5-2. 各種設定の変更方法]

#### 4-6. クイック設定画面 [※4-5(前項)]からの設定方法

クイック設定画面からの設定方法の例として「無線LAN(Wi-Fi)の接続設定」、「LCDオフ機能の設定」の設定を説明します。

##### 4-6-1. 無線LAN(Wi-Fi)の接続設定

(本機でインターネットをおこなうために必要な設定です。)

①インターネット環境をご準備のうえ無線LAN親機(別売)を用意します。  
[※3-1. インターネット環境の準備] あらかじめ無線LAN親機の設定をおこなってから開始してください。無線LAN親機側の設定方法は、無線LAN親機の取扱説明書を参照してください。

②4-5の手順でクイック設定画面を表示させます。

③Wi-Fiのアイコンの下に表示されている、「Wi-Fi」をタップします。

④少しするとクイック設定画面に周囲の電波状況が一覧表示されます。

⑤周囲の電波状況表示の中から、ご利用になるアクセスポイントのネットワーク名(SSID)を選びタップします。

⑥画面にキーボードが表示されたら、キーボードでネットワークセキュリティキーを入力して、「接続」をタップします。

トグルスイッチがONになります。

「接続済み」が表示されます。

電波状況の一覧表示には少し時間がかかります。

接続中はWi-Fiのアイコンが全灯し、接続中のネットワーク名が表示されます。アイコンのタップで機能のON/OFFができます。

⑦表示画面が切り替わり、接続されたネットワーク名の下に「接続済み」と表示されます。

⑧ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

クイック設定画面で接続状態の確認や無線LANのON/OFFがおこなえます。

→4-5の手順でクイック設定画面を表示します。

接続中はWi-Fiのアイコンが全灯し、接続中のネットワーク名が表示されます。アイコンのタップで機能のON/OFFができます。

アプリドロワー → アプリ画面 → 「設定」アイコン → 「無線とネットワーク」にあるWi-Fiの設定画面が表示されています。これで無線LANの接続設定は完了です。

#### 4-6-2. Bluetoothの接続設定 (必要がある場合におこなってください。)

①Bluetoothの接続設定はペアリングとも呼ばれます。接続するBluetooth機器側の取扱説明書を参照し、Bluetooth機器側の電源スイッチをONにしてペアリングボタンを押すなどしてから開始してください。  
[本機のBluetooth通信範囲:見通し距離約10m]

②4-5の手順でクイック設定画面を表示させます。

③Bluetoothのアイコンの下に表示されている、「Bluetooth」をタップします。

④右の画面が表示されたら、詳細設定をタップします。

⑤画面が切り替わります。

Bluetoothのアイコンの下に表示されている、「Bluetooth」をタップします。

使用可能なデバイス

使用可能なデバイス

↑機器名をタップ

ペアリングされたデバイス

ペアリングが完了すると、表示が「ペアリングされたデバイス」と「接続」に変わります。

このあと「スワート」等の入力を求められたら、接続するBluetooth機器側の取扱説明書を参照のうえ入力してください。

これでBluetoothの設定は完了です。

接続中はBluetoothのアイコンが全灯し、接続中の機器名が表示されます。アイコンのタップでBluetooth機能がOFFになります。

クイック設定画面で接続状態の確認がおこなえます。

⑦「ペアとして設定中」のメッセージが表示され、相互の認証が開始されます。

⑧ペアリングが完了すると、表示が「ペアリングされたデバイス」と「接続」に変わります。

このあと「スワート」等の入力を求められたら、接続するBluetooth機器側の取扱説明書を参照のうえ入力してください。

これでBluetoothの設定は完了です。

接続中はBluetoothのアイコンが全灯し、接続中の機器名が表示されます。アイコンのタップでBluetooth機能がOFFになります。

クイック設定画面で接続状態の確認がおこなえます。

#### 4-6-3. LCDオフ機能の設定 (必要がある場合におこなってください。)

一定時間操作がないときに、自動的にディスプレイ表示だけを消灯して消費電力を低減させることができる「LCDオフ」機能の設定方法を説明します。(本機には「スリープ機能」はありません。)

①4-5の手順でクイック設定画面を表示させます。

②通知バーにある「設定」アイコンをタップします。

③画面が「設定」に切り替わったら「ディスプレイ」をタップします。

④つづいて「LCDオフ」をタップします。(ご購入時は機能が「起動しない」になっています。)

⑤操作がなくなつてからLCDオフ機能が起動するまでの時間を選んでタップします。

⑥画面がひとつ前に戻り、LCDオフ機能が起動する時間が表示されます。

⑦ホームボタンをタップしてホーム画面に戻ります。

LCDオフ

起動しない

15秒

30秒

1分

5分

10分

30分

LCDオフ

操作が行われない状態で5分経過後

これでLCDオフ機能の設定は完了です。

LCDオフ状態から復帰させるときは、電源ボタンをカチッと短押ししてください。画面表示が復帰し「ロック画面」が表示されたら画面のロックを解除してください。画面のロックの解除方法は[※4-1. 本機の電源をONにする]をご覧ください。

操作をしていなくても、動画系ファイル(インターネットの動画系ファイルを含みます)を再生している場合は、設定した時間を過ぎてもLCDオフ機能は起動しません。

#### 4-7. おもな内蔵アプリについて

アプリは、アプリドロワーのタップで「アプリ画面」に一覧表示されます。  
←アプリドロワー、アプリ画面 [※4-3.「ホーム画面」の基本操作方法]

以下は本機のおもなプリインストールアプリです。アイコンのタップからご利用ください。

カメラ 内蔵カメラで静止画や動画を撮影	カレンダー スケジュール管理などがおこなえます
ギャラリー 保存した動画・静止画を再生します	ダウンロード ダウンロード履歴が参照できます
ブラウザ インターネット検索がおこなえます	メール メールの利用ができます
音楽 保存した音楽を再生します	音声レコーダー 内蔵マイクの音声をメモ録音します
時計 アラーム、砂時計、ストップウォッチなど	電卓 電卓、関数電卓が利用できます
設定 本機の設定変更や状況の確認をおこなうための入口です	ファイルマネージャー 本機や本機に接続した外部ストレージデバイスのファイル管理がおこなえます

ファイルマネージャーがmicroSDカードのほか認識できるUSBメモリーなどの外部ストレージデバイスの数は、本機のTypeA USBポートに接続した1機器と、拡張ポートへ装着した専用周辺機器(別売)内のTypeA USBポートに接続した1機器の、合計2つまでです。microUSBポートに接続したストレージデバイスは認識しません。

### 5. 画面カスタマイズと各種設定の変更方法

ここではホーム画面のカスタマイズ方法や各種設定の変更方法を説明します。

#### 5-1. 壁紙やウィジェット表示のカスタマイズ

●壁紙の変更

①ホーム画面のアイコンなどが何もない場所を長押しします。

②壁紙/ウィジェットの設定画面に切り替わったら「壁紙」をタップします。

③画像一覧から壁紙を選択しタップします。

④画面に表示された「壁紙を設定」または「壁紙に設定」をタップします。

●ウィジェット表示の設定 - アプリを起動しなくてもアプリ情報の確認ができます。

①ホーム画面のアイコンがない場所を長押しして、壁紙/ウィジェットの設定画面に切り替え、「ウィジェット」をタップします。

②ウィジェットの一覧が表示されます。ここでは設定例としてアナログ時計のウィジェットを長押しします。

③以下の画面になったら指を離します。

④「ウィジェットの作成とアクセスの許可」が表示されたときは「作成」をタップします。

⑤ホーム画面にアナログ時計のウィジェットが常時表示されました。

ブラウザから選択したWebサイトやメールの新着なども、②から追加するとホーム画面にウィジェット表示できます。

#### ●アプリアイコン表示の設定 - ホーム画面にアプリアイコンを常時表示できます。

①アプリドロワーをタップしてアプリ画面を開きます。

②設定例としてカメラアプリのアイコンを長押しします。

③以下の画面になったら指を離します。

④カメラアイコンが常時表示されました。

アプリ画面

カメラ

ウィジェットやアプリアイコンの移動や削除方法(例)

●アナログ時計ウィジェットの移動  
アイコンを長押しするとひと回り大きくなりますので、指を離さず、アイコンを任意の場所へドラッグします。

●カメラアイコンの削除  
アイコンを長押しするとひと回り大きくなりますので、指を離さず、画面上部に表示される「× 削除」へドラッグしてかざし、アイコンの色が変わったら指を離します。

#### 5-2. 各種設定の変更方法

クイック設定画面またはアプリ画面の「設定」アイコンのタップで設定画面が表示されます。

以下は設定変更手順の一例です  
ディスプレイの明るさを自動調節にする → 「ディスプレイ」 → 「明るさの自動調節」 → …  
表示される文字のサイズを大きく(小さく)する → 「ディスプレイ」 → 「フォントサイズ」 → …  
通知音を「あり」にする(出荷時設定:なし) → 「音と通知」 → デフォルトの通知音 → …  
アプリを削除(アンインストール)する → 「アプリ」 → 削除するアプリアイコンをタップ → …  
手動で日時を合わせる → 「日付と時刻」 → 自動設定をOFFに → 日付設定、時刻設定 → …

本機の初期化をおこなうときは「バックアップとリセット」からおこないます。初期化(ファクトリーのリセット)とはシステムが手作業で修復できない状態になったときや、システムの不具合の原因が特定できない場合などやむを得ないときに、本機の復旧を目的として本機内の記憶媒体を消去し、初期状態に戻すことです。大切なデータや設定内容はお客様が初期化を実施する前または修理に出す前に外部の記憶媒体にコピーするなどバックアップをおとってください。

### 6. 本機の仕様について

●製品仕様書などについて  
製品仕様書およびその他の情報は次のWEBサイトからご参照ください。  
[http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec\\_search.aspx](http://pc-support.jp.onkyo.com/pds/spec_search.aspx)

●有寿命部品、消耗品について

有寿命部品	ACアダプター、記憶媒体(e-MMC)、液晶パネル、タッチパネル
消耗品	バッテリーパック、拡張ポート接続端子

本機には有寿命部品や消耗品が含まれています。有寿命部品の交換時期はご使用になる頻度や条件により異なります。消耗品は性能・機能維持のため適時交換が必要です。有寿命部品や消耗品の部品交換は、保証期間内・外にかかわらず有料です。

●バッテリーサイクルについて

[ 800サイクル ] 経過時点の満充電時の駆動時間は、初期性能の[ 80% ]以上です

内蔵(リチウムイオン)バッテリーは消耗品です。バッテリーはご使用により徐々に劣化していきま(サイクル劣化)。満充電時の駆動時間が初期性能のおよそ50%付近まで低下した場合、バッテリーは寿命を迎えます。消費品として、オーディーエスPCカスタマーセンターへ交換を依頼してください。[※ 別冊 使用上の注意・サポートガイド]もお読みください。

●補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品の保有期間	製造打ち切り後3年間
--------------	------------

補修用性能部品の保有期間をもって、製品の修理対応は終了となります。(補修用性能部品とは、製品の機能・性能を維持するために必要な部品で、すべての部品ではありません。)

●無線LANおよびBluetoothワイヤレステクノロジーについて

2.4GHz帯無線LAN / Bluetoothワイヤレステクノロジー  
この機器の使用周波数帯では電子レンジ等の産業、科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を有する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

①この機器を使用する前に近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。

③その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は、下記連絡先にお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

2.4 FH 4

(Bluetoothワイヤレステクノロジー)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するDSSS変調方式/OFDM変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。  
\*使用できるチャンネル(ch)は、1ch~13chです。

(Bluetoothワイヤレステクノロジー)この機器が、2.4GHz周波数帯を使用するFHSS変調方式の無線装置で、干渉距離が40mであることを示しています。  
\*送信出力はPower Class2で通信範囲は見通し距離約10mです。

5GHz帯無線LAN (ご利用になる場合は対応する無線LAN親機をご用意ください。)  
この機器は5GHz帯無線LANを内蔵しており、使用できるチャンネル(ch)は以下です。

IEEE802.11a/n/ac	W52: 36ch, 40ch, 44ch, 48ch W53: 52ch, 56ch, 60ch, 64ch W56: 100ch, 104ch, 108ch, 112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch, 136ch, 140ch
------------------	--

\*W52とW53は、電波法によりご利用が屋内に限定されています。

無線LANはネットワークセキュリティキーを利用するなどのセキュリティ設定をおこなううえで使用してください。セキュリティ設定をしていない場合、第三者に通信内容を盗み見られたり、不正にネットワークへ侵入されたりするおそれがあります。

#### ●瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めた「パーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満たしております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。なお、内蔵バッテリーの充電残量が不十分な場合は本規格の耐力を満たさないのをご注意ください。

#### ●高調波電流規制について

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品です。

#### ●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

©2018-2021 ODS Corporation

製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。本書を含む各種マニュアルの内容は、予告なく変更する場合があります。本書で使用している画像等はそれぞれの表示イメージです。製品と異なる場合があります。本書を含む各種マニュアルの内容について、万が一ご不審な点や誤り等がありましたら、オーディーエスPCカスタマーセンターへご連絡ください。なお、本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、各種マニュアルの記載内容にかかわらず当社はその責を負いません。本製品に内蔵のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびハードウェアのソフトウェアライセンス契約にもとづき、同意書記載の管理責任者のもとでのみ使用許されます。なお、「ファイルマネージャー」はライセンスのポリシーによりユーザーサポート、動作保証および使用に伴う損害についての保証はございません。他社製周辺機器およびソフトウェアについては動作を保証するものではありませんので、各販売元にお確かめの上ご購入ください。本製品に記録した著作物は、個人で楽しむなどの場合は、著作権上、権利者に無断で使用できません。本書を含む各種マニュアルの無断転載を禁じます。商標について、「オンキヨー」「Onkyo」「Onkyo Installation」はオンキヨー株式会社の商標または登録商標です。オーディーエス株式会社はオンキヨー株式会社よりライセンスを受けて使用するものです。Google, Googleロゴ, Android, Androidロゴは、Google LLCの商標または登録商標です。microSD, microSDHCは、SD Card Associationの商標または登録商標です。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc. USAの商標または登録商標です。日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のWnn IMEを使用しています。iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2021 All Rights Reserved.その他記載されている会社名、製品名、規格名は各社の商標もしくは登録商標です。本書ではTMマークを省略しています。

DC1199-010 2021年1月 四版

オーディーエス株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5 京王神田須田町ビル

お問い合わせ先: オーディーエスPCカスタマーセンター  
電話サポート窓口 ナビダイヤル 0570-001134  
サポートホームページ <http://pc-support.jp.onkyo.com/>